



キャリアパス(人間科学職に求められること)



こちらの図では、人間科学職のキャリアパスを示しています。

人の一生に関わる幅広い分野の仕事を担当する厚生労働省の中で、人間科学職は、主に「職業」の分野に関する政策を専門的な視点から支え、そうした経験を積みながらキャリアアップを図っていきます。その際、厚生労働省の人間科学職には、個々人に向き合い、その課題をひとつひとつ解決していく個別支援よりも、必要な支援を行うための仕組みを作り、運用していくことが求められます。また、労働局(地方)勤務を経験し、政策を運用する現場実務や組織マネジメントにも精通していくことも期待されます。

具体的には、個別支援の手法を理解した上で、さまざまな制度や事業の仕組みを創設・運用することになります。運用にあたり、対外的には、関係団体等との連携の体制の構築、事業主等に対する指導・啓発を進めます。対内的には、現場で用いる様々なツールや手法等を開発・提供するほか、業務を円滑に進めるための指導や、組織マネジメントの方法を検討します。このような取組を通じて、必要な支援を成し遂げていくことが必要となります。

このため、まずは「総合職」としての企画・立案の能力、調整力、指導力などが求められます。これを突き詰めていくと、積極性、理解力、説明力、論理構成力、リーダーシップ、コミュニケーション能力などが求められることになります。

それでは、次のページから厚生労働省で活躍している人間科学職の職員を紹介していきます。

